

教科名	国語	科目名	論理国語	学年	2年	単位数	2
教科書	論理国語 (大修館書店)		副教材	「準拠ワーク」「実践文字カトリプルチェック」 「大学入試国語頻出問題1200」「国語辞典」			

1 科目の目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指す。また、言葉が持つ価値への認識を深め、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習について

① 予習・復習の仕方

予習：本文を読み、語句調べをし、主旨をつかもうとする。

復習：授業で習った箇所の教科書を読み返す。その際、重要事項等ノートに書きこんで、授業内容を確認する。

② 授業における学習方法

積極的に理解に努める姿勢で、発問に対しノートに自らの考えの軌跡を残す。復習の際に書き込めるノート作りに心掛ける。

③ 家庭学習のポイント

【全員】宿題は、出された当日に必ず自分の力です。漢字テストは範囲内を繰り返し練習して準備する。

【Aクラス】スタディサプリを積極的に活用する。模試の復習を行う。

【Bクラス】準拠ワークに取り組み、授業の復習を行う。

3 学習計画

考查		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期	・私たちは世界とどう向き合うのか	・世界の向き合い方について考察する。「読むこと」
	中間	・言葉を定義しよう・芸術と文化	・芸術をテーマに抽象的な事柄を具体的に書き換える。「書くこと」
	前期 期末	・共同体の今・統計学からの分析 ・科学の可能性・立場を明確にして書く	・統計資料と本文を読み比べ、筆者の主張をつかむ。「読むこと」 ・科学技術の発展をテーマに立場を明確にして意見を書く。「書くこと」
後期	後期 中間	・日本語の多様性 ・情報を集めて分析する ・思考の枠組み・図版を分析して書く	・言葉の使い分けの効果を読み取る。「読むこと」 ・文章構成の仕方を学び、進路希望や興味関心に合わせて小論文を書く。「書くこと」
	学年 末	・社会の原点・意見を交流する ・グローバル化の先へ ・調べたことをレポートにまとめる	・社会の成り立ちについて意見を交流する。「読むこと」 ・グローバル化についての知見を深め、調べたことを報告する。「書くこと」

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、単元ごとや宿題などの課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…60% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…10%